

令和4年度自己評価結果公表シート

作成 川口聖マリア幼稚園

1、本園の教育目標

情操豊かにたくましく
他人を思いやる心を育成することを目標とする

2、評価項目の達成及び取り組み状況

コロナ禍での園生活も3年目となり、マスク着用や消毒など感染症に対する生活の方法や重要性を子どもたちに伝え習慣づけを図り、また、不安で登園の自粛など、特に不安を抱える保護者に対して丁寧な対応を心掛けている。

感染対策を取りながらも子どもの成長に応じ幼児期にふさわしい生活が出来るよう環境を整えている。

3、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目	取組状況
感染症に対する生活の方法を考え実践すると共に、子どもにもその重要性を伝え習慣づけを図る	マスクの着脱や消毒などの重要性を伝えるようにした。互いのことを思い行動することでクラスターも起きることなく過ごせた
一人一人の子どもを理解し個性や努力を評価しながらその子にあった指導や工夫を柔軟にする	全体の支持での行動が難しい子には個別で対応し、場面によって対応を考えながら自分でできたという達成感が持てるよう心掛けた
遊びを通して幼児期に必要な運動感覚を養い、体力づくりをするとともにルールなどの存在に気づき、人とかかわる力を育てる	様々な運動を取り入れ楽しみながら運動できるようにした。ルールや動きを習得できるよう準備段階に力を入れ、基礎ができることで遊びが広がっていった

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度もまだ感染症への対策等に重点を置かざるを得ないところがあり、平常通りとはいかない中で保育を展開しなければならない難しさがあった。

外出控えによるのか体力やコミュニケーション能力の低下が気になるところで、子ども同士の関りなど改めて重要性を感じることも多々あったため、感染対策をとりながらも様々な活動を取り入れることで、少しずつ解消を目指している。不安を感じる子どもや保護者へも配慮しつつ行事等も行うことで園生活に充実感を持たせながら保育を進めていくことが必要である。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
子どもの体力・経験不足の解消	子ども達に体を動かす楽しさや充実感を味わえるように工夫し、運動だけでなく様々なことをやってみようとする気持ちを持てるよう指導を工夫する。
家庭との連携	毎日の生活の中で良いことも伝えながら信頼関係を築き、保護者の不安や心配事の解消へとつなげる。必要であれば関係機関を紹介し、園も連携を取りながら子どもの成長の一助となるようにする。
感染症への対応	様々なことが緩和されてくると慣れとなり必要な対策がおろそかにならないよう、時と場合によって必要な対策を知らせていく

6、学校関係者の評価

概ね日々の努力は認められ、特に指摘すべき事項はなく妥当であると認められる

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている